

ダイヤ通気ラス 標準施工要領



南和ラス工業株式会社

目次	・・・・・・・・	1
製品の特長	・・・・・・・・	2
概要	・・・・・・・・	3
施工手順	・・・・・・・・	4
1. ダイヤ通気ラスの施工前にすべきこと		4
2. ダイヤ通気ラスの配置と貼り方		6～8

1. 高品質なメタルラス

ダイヤ通気ラスは、住宅金融支援機構基準の700 g/m²及び、日本建築学会基準 JASS15M-101に規定される800 g/m²を大きく上回る950 g/m²を誇ります。

ダイヤ通気ラスは、網目が斜立していますので、モルタル施工時に過度のコテ圧をかけなくとも、モルタルの自重によりラスの裏側に回り込み被覆します。

ダイヤ通気ラスは、ラスにリブ部を150mm間隔に配置していますので、十分な塗り厚も確保され、ラスの裏側にモルタルが回り込むのを助けます。また、ステーブルを等間隔に施工でき、強度の大きいリブ部を留め付ける事により保持力が飛躍的に向上します。

2. 高品質な防水紙（改質アスファルトフェルト）

ダイヤ通気ラスは、防水紙に改質アスファルトフェルトを使用しておりますので、ステーブル止付け施工時にできる、貫通孔からの雨水の侵入を阻止します。合成繊維不織布を基材に用いているため、寸法安定性に優れ、施工後、乾湿による寸法変化がほとんどありません。従って波打ちがほとんどないため、モルタルの塗布厚が均一に仕上がります。強度も優れており、風にあおられても破れることはほとんどありません。

3. ホットメルトによる糊付け

ダイヤ通気ラスは、ラスと防水紙を従来の直線的な糊付けをするのではなく、ホットメルトで点（ドット）による糊付け加工を施しました。これにより、モルタルがラスの裏側に縁が切れることなく回り込み、通気工法に多かった、モルタルのクラックを最小限に抑えることができます。

4. 簡単施工

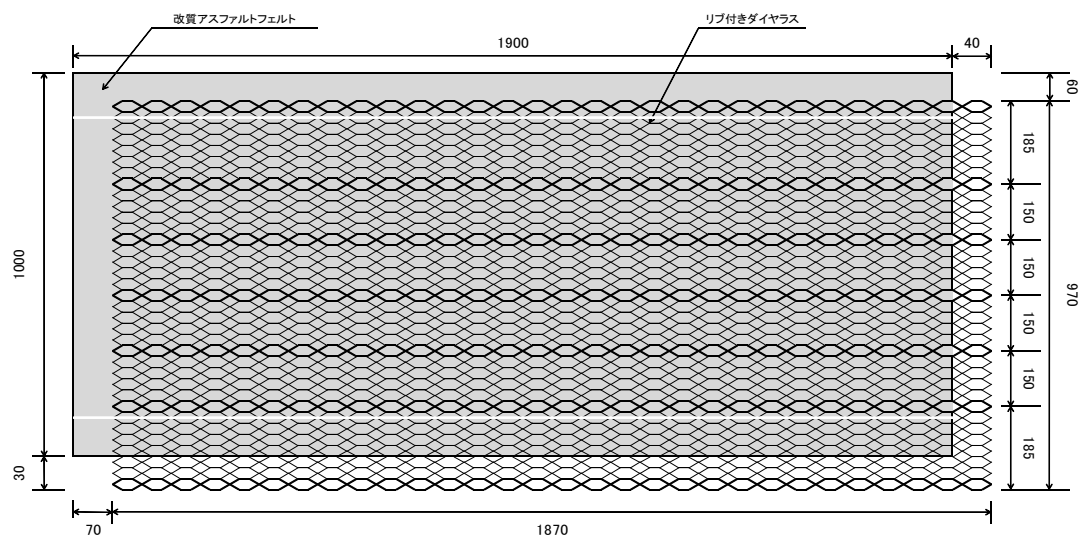
コーナー部や開口部周りなどにおいて、切断が容易にできます。

5. 腐食に強い

ラス部は、腐食に強い溶融亜鉛メッキ鋼板を使用しています。

概要

1. 形状および寸法



《 図 1 》

2. 規格

製品名	品番	寸法 (mm)	リブピッチ	m ² 重量 (ラス)	m ² 重量 (防水紙)	梱包
ダイヤ通気ラス	QZM-850	970×1870	150mm	850 g/m ²	620 g/m ²	27Kg/10枚

3. 材料

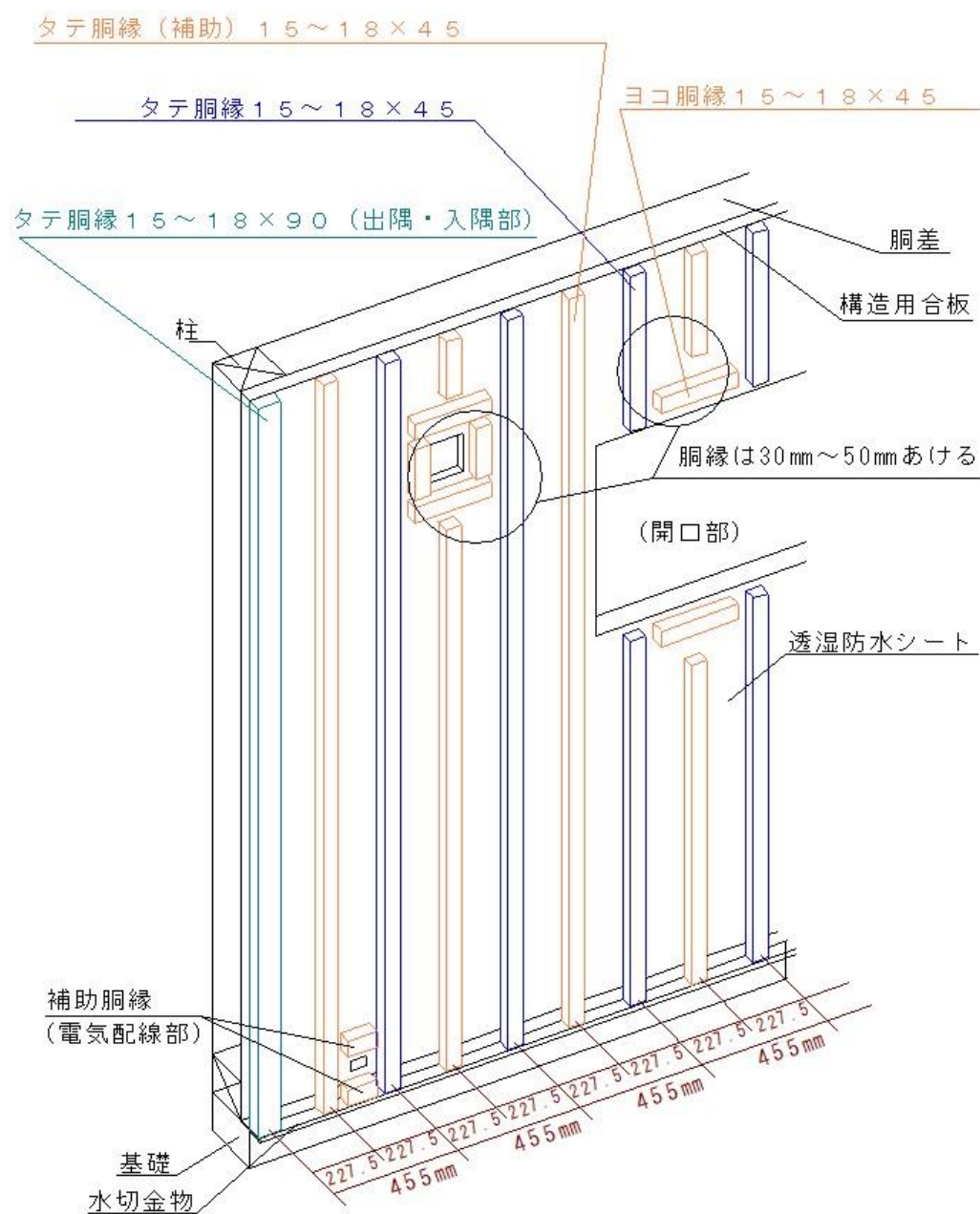
ラス	防水紙	糊
溶融亜鉛メッキ鋼板	改質アスファルトフェルト	ホットメルト

4. 必要工具

1. エアータッカー
2. ラス鋏
3. ステープル *足長25mm以上かつM線またはT線をお使いください。

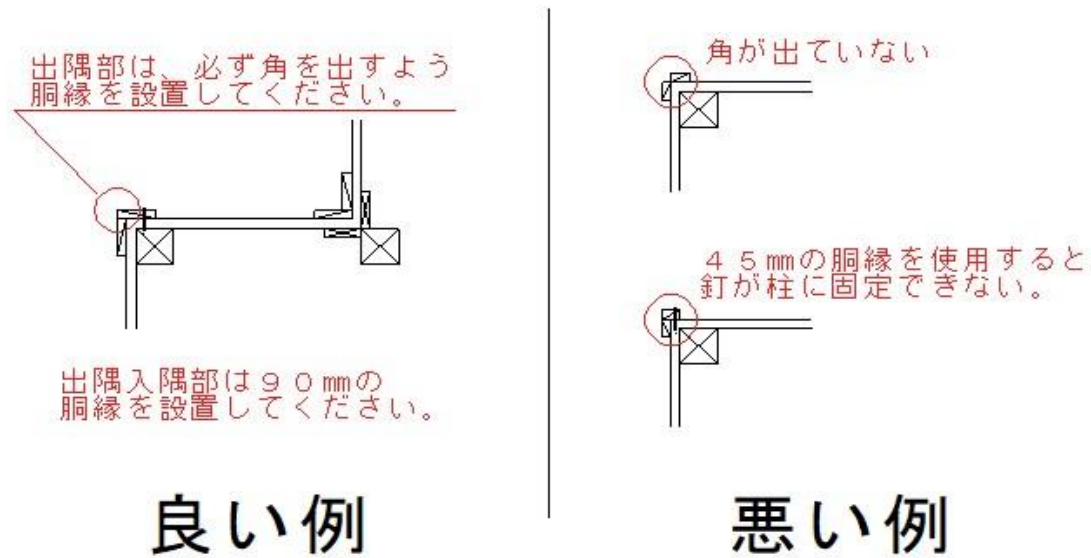
1. ダイヤ通気ラスの施工前にすべきこと

- ① サッシ工事・水切り工事・雨戸工事・開口部孔明け工事・配管配線工事
- ② 通気胴縁間に補助胴縁を設置してください。



* 後付庇、壁面装飾等の後付け部材がある場合、その部分の補強が必要になります。
* ファイアーストップの必要有無は監督員様にご確認下さい。
* 水切り・防虫網・下端定規等は監督員様にご確認下さい。

《 图 2 》



《 図3 》

- ③ 出隅・入隅部には、90mmの胴縁を施工してください。 (図3)
- ④ 通気が遮断される恐れがある箇所は必ず30mm以上の隙間を開けてください。
- ⑤ 胴縁の柱・間柱への固定は、釘もしくはビスで500mm以内で固定してください。
- ⑥ 柱・間柱間に設置する胴縁（補助）は、内部状況を確認し釘もしくはビス、またはステーブル（足長25mmのM線もしくはT線）にて固定してください。

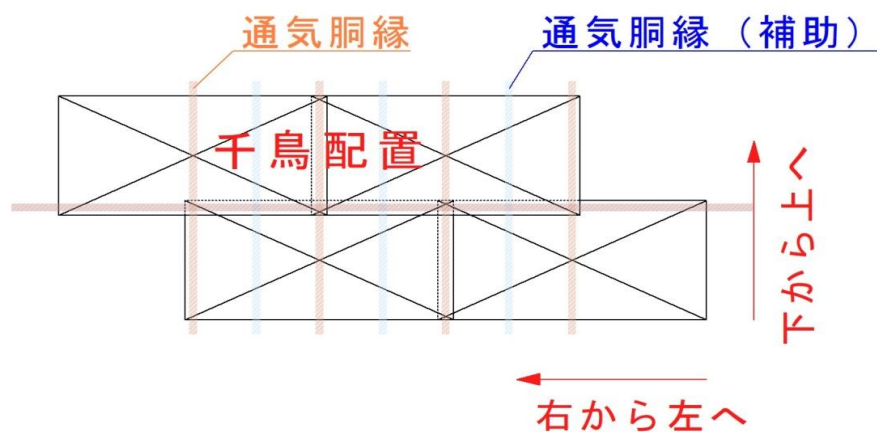
2. ダイヤ通気ラスの配置と貼り方

① ダイヤ通気ラスは、横張りで千鳥に配置してください。 (図4-1)

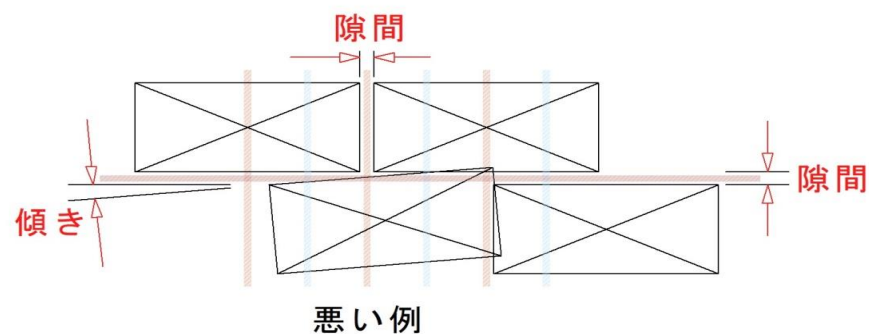
その際、隙間が空いたり傾いて貼り付けないよう留意してください。 (図4-2)

② 継ぎ目は通気胴縁上にて留めつけてください。 (図4-1)

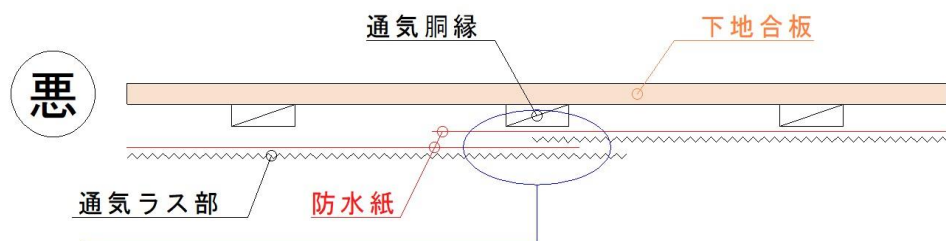
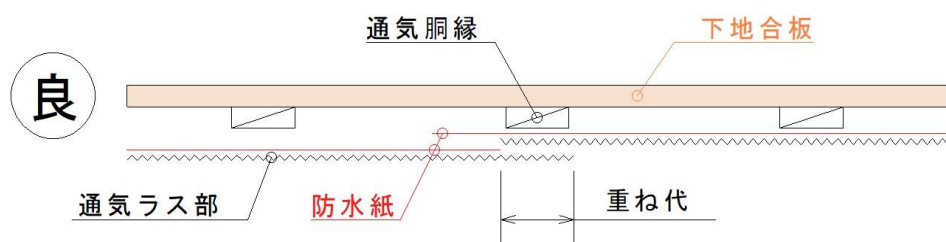
③ ダイヤ通気ラスは、基本右から左、下から上に貼ってください。 (図4-1)



《 図4-1 》



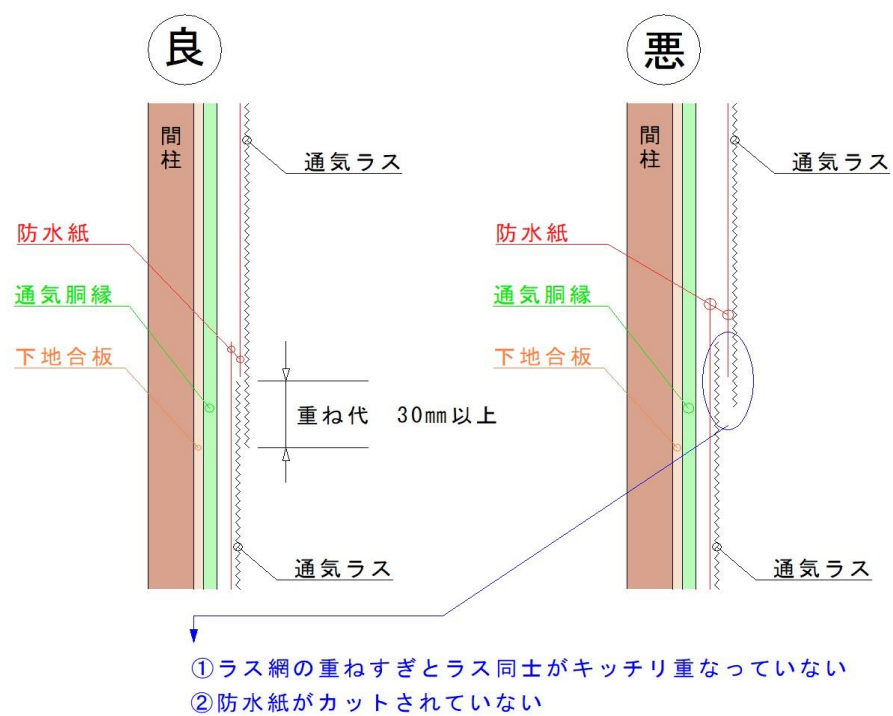
《 図4-2 》



- ① ラス網の重ねすぎとラス同士がしっかり重なっていない
- ② 防水紙をカットしていない
- ③ 通気胴縁にラスがキッチリかかっていない

《 図5 》

- ④ 防水紙が重なってしまう場合は、上になる方の通気ラスの防水紙を剥がし、カットしてください。
- ⑤ ダイヤ通気ラスは、出隅・入隅で回し張り、もしくは突きつけで施工した後コーナラスにて補強してください。
- ⑥ サッシ周囲において、通気ラスとサッシの間は10mm程度隙間をあけてください。



《 図6 》

南和ラス工業株式会社

〒 637-0016 奈良県五條市近内町709

TEL 0747-23-0921
FAX 0747-25-1273

